

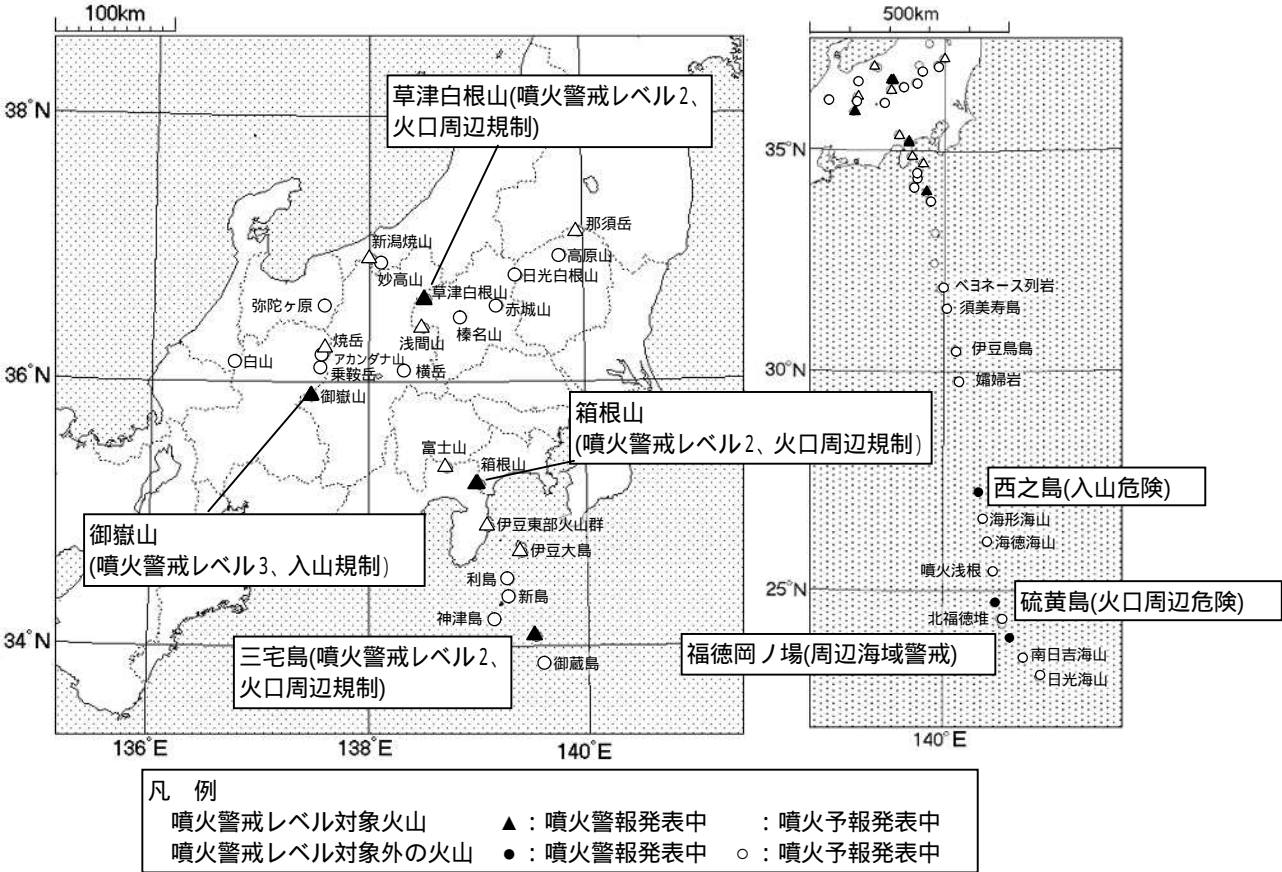
管内月間火山概況（平成 27 年 4 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（4 月 30 日現在、箱根山は 5 月 13 日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	御嶽山
	レベル 2（火口周辺規制）	草津白根山、箱根山、三宅島
	入山危険	西之島
	火口周辺危険	硫黄島
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場
噴火予報	レベル 1（平常）	那須岳、浅間山、新潟焼山、焼岳、富士山、 伊豆東部火山群、伊豆大島
	平常	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、 弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、利島、新島、 神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、 須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、海德海山、 噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山

印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



* 噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の管内月間火山概況（平成 27 年 5 月分）は平成 27 年 6 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

箱根山では、5 月 6 日（期間外）に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（平常）から 2（火口周辺規制）に引き上げました。

その他の火山では、予報警報事項に変更はありません。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

那須岳は活火山であることに留意してください。

日光白根山〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山は活火山であることに留意してください。

草津白根山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕

昨年（2014 年）3 月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が増加し、その後、消長を繰り返しながら多い状態が継続していましたが、8 月 20 日以降はやや少ない状態で経過しています。

地殻変動観測によると湯釜付近の膨張を示す変動が認められています。また、全磁力観測による 2014 年 5 月以降の湯釜近傍地下の温度上昇を示すと考えられる変化は、7 月以降停滞しています。

湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。噴火時には、風下側で火山灰や小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

また、ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺のくぼ地や谷などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがありますので、注意してください。

浅間山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、山頂火口から 500m を超える範囲に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。ただし、山頂火口から 500m 以内に影響する程度の噴出現象は突発的に発生する可能性がありますので、火山灰の噴出や火山ガス等に警戒してください。浅間山は活火山であることに留意してください。

新瀧焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

新瀧焼山は活火山であることに留意してください。

弥陀ヶ原〔噴火予報（平常）〕

弥陀ヶ原近傍の地震は少ない状態で経過しました。

以前から熱活動が活発な立山地獄谷では、2012 年 6 月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇傾向が確認されていることから、今後の火山活動の推移に注意してください。

弥陀ヶ原は活火山であることに留意してください。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

焼岳は活火山であることに留意してください。

乗鞍岳〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

乗鞍岳は活火山であることに留意してください。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル 3、入山規制）〕

御嶽山の火山活動は低下してきており、昨年（2014 年）9 月 27 日と同程度、またはそれを上回る規模の噴火が発生する可能性は低くなっています。一方、火口列からの噴煙活動や地震活動が続いていることから、今後も小規模な噴火が発生する可能性があります。

新たな火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石と火砕流に警戒し

てください。これに加えて南西方向（地獄谷方向）では火口から概ね 2.5km まで火砕流に警戒してください。

風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意してください。また、降雨時には土石流の可能性ありますので注意してください。

白山〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

白山は活火山であることに留意してください。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

2011 年 3 月 15 日に静岡県東部（富士山の南部付近）で発生したマグニチュード 6.4 の地震以降、地震活動が活発な状況となっていました。その後、地震活動は低下してきています。その他の観測データでも浅部の異常を示すものではありません。火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。富士山は活火山であることに留意してください。

箱根山〔噴火予報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕← 5 月 6 日（期間外）に噴火警戒レベルを 1（平常）から 2（火口周辺規制）に引き上げ

箱根山では 4 月 26 日から火山性地震が増加し、5 月 5 日（期間外）には箱根町湯本で震度 1 を観測する地震が 3 回発生しました。今回の火山活動に関連するとみられる地殻変動も観測されました。また、大涌谷の温泉供給施設では 5 月 3 日（期間外）に蒸気が勢いよく噴出しているのが確認されました。

これらのことから、大涌谷周辺に影響を及ぼす小規模な噴火が発生する可能性が高まっていると考えられ、5 月 6 日（期間外）に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（平常）から 2（火口周辺規制）に引き上げました。

大涌谷周辺では小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。また、風下側では火山灰や小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。伊豆東部火山群（東伊豆単成火山群ならびに東伊豆沖海底火山群の総称）には活火山が多くあることに留意してください。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

GNSS¹⁾ 連続観測では、地下深部へのマグマの供給によると考えられる島全体の長期的な膨張傾向が続いています。2011 年頃から鈍化していましたが、2013 年 8 月頃から再び膨張傾向がみられます。その他の観測データには特段の変化はなく、噴火の兆候は認められませんが、山体の膨張が継続していることから、今後の火山活動に注意してください。伊豆大島は活火山であることに留意してください。

新島〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

新島は活火山であることに留意してください。

神津島〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島は活火山であることに留意してください。

三宅島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕

火山ガス放出量は、長期的に減少傾向にあり、2013 年 2 月以降はやや少量となっています。

火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性は低くなっていますが、噴煙活動は続いており火口近傍に火山灰等が噴出する可能性はあります。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があると思われざる地域では火山ガスに警戒してください。

八丈島〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八丈島は活火山であることに留意してください。

青ヶ島〔噴火予報（平常）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島は活火山であることに留意してください。

西之島〔火口周辺警報（入山危険）及び火山現象に関する海上警報〕

海上保安庁等の観測によると、噴火による噴石等の堆積や溶岩の流出が継続し、新たな陸地の拡大が続いています。

西之島では、今後も新たに形成された陸地にある火口で噴火活動が継続すると考えられます。また、西之島周辺の海底で噴火が発生する可能性も引き続き考えられ、噴火による影響が海上まで及んだ場合、弾道を描いて飛散する大きな噴石や、水面を高速で広がるベースサージ²⁾等の影響が概ね 2 km の範囲に及ぶおそれがありますので、西之島の中心から概ね 4 km 以内では噴火に警戒してください。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

火山性地震はやや多い状態で経過しています。GNSS¹⁾連続観測によると、地殻変動は 2014 年 2 月下旬頃から隆起の傾向、9 月頃から停滞の傾向がみられていましたが、12 月上旬から再び隆起の傾向がみられ、2015 年 1 月中旬頃から隆起速度が上がっていましたが、2 月上旬頃から鈍化しています。その他の観測データに特段の異常は認められません。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生している地点（ミリオンダラーホール（旧噴火口）等）及びその周辺では噴火に警戒してください。

福德岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

3 日に海上自衛隊が実施した上空からの観測によると変色水等は認められていません。

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福德岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されています。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に警戒してください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

2) 火山ガスと火山灰等の混合物が、水面や地表面を高速で横方向に広がり、地表の物を巻き込む現象で、人体や建物、船舶等に大きな被害を与える恐れがあり、とても危険です。